

10月 二戸食だより

に こ

◆～毎月19日(食育の日)から1週間は、「二戸食週間」、毎月25日は「二戸食の日」です～

二戸市学校給食センター 給食だより

「暑さ寒さも彼岸まで」というように、日に日に暑さがやわらぎ、過ごしやすい気候になってきました。秋は、お米や大豆など日本人の食生活に欠かすことのできない作物が収穫を迎える季節です。10月は食品ロス月間でもあります。SDGsの視点から食品ロスや環境保全について考えるきっかけにしたいですね。

身近な「SDGs」を意識してみませんか？

ここ数年で、「SDGs」という言葉をよく目にするようになりました。SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」を略した言葉で、国際連合に加盟する193の国々が、2030年までに達成すべき17の目標です。現在、世界では気候変動、飢餓、紛争、感染症など、さまざまな課題を抱えています。これらを解決し、世界中のすべての人びとが、安心して暮らし続けられる社会を目指すものです。

SDGs 17 の目標

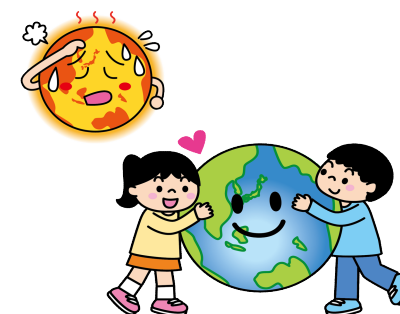
- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 貧困をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| 2 飢餓をゼロに | 11 住み続けられるまちづくりを |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 12 つくる責任 つかう責任 |
| 4 質の高い教育をみんなに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 14 海の豊かさを守ろう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 16 平和と公正をすべての人に |
| 8 働きがいも経済成長も | 17 パートナリシップで目標を達成しよう |
| 9 産業と技術革新の基盤を作ろう | |

給食時間にできる SDGs の取り組み 一人ひとりが意識してみよう！



地球にやさしいクッキングを考えよう！

私たちの毎日の生活には、たくさんのエネルギーが使われています。エネルギーは使えば使うほど、発生する二酸化炭素の量が増え、地球温暖化の原因になります。地球温暖化が進むと、気候が変わり自然災害が起こったり、海水が増えて陸地が少なくなったり、食べ物が育たなくなるなど、地球環境にとってよくないことが起こります。



私たちが食べ物を買って料理をして食べ、後片付けをする時にも、たくさんのエネルギーが使われていますが、そのエネルギーをなるべく少なくする方法があります。その方法を考えながら料理すること（クッキング）を、考えてみましょう。

【買い物でできること】



地場産物を食べて 地産地消！



地域で生産された食材をその地域で消費することを地産地消といいます。生産者の顔が見えるので安心して買えます。また、遠くから輸送しないので、新鮮な状態で手に入り、環境への負担も減らせます。

10月11日は オール二戸食材の日

地元生産者や製造業者の方々のご協力のもと二戸市産の食材で作られた給食です。生産者の方の思いを知り、二戸の食材や食文化に興味をもち、関わる人々へ感謝の気持ちをもつ機会となることを願っています。

いわて短角和牛



りんご